

ほっとメール

神奈川みなみ医療生協

健康まちづくり部



誰もが健康で居心地よく くらせるまちづくり

2026年9月7日

熱中症対策に関する緊急要請を行いました①

熱中症で救急搬送される人は毎年数万人を超えています。死亡する人も近年は年間2,000人を超える状況になっています。そのうち、65歳以上の方は屋内で亡くなっている人が多く、9割が「エアコンを使用していない」・「エアコンを持っていない」人でした。エアコンの使用が命綱になっていることが浮き彫りになりました。物価高騰が続く中では、さらにエアコンの使用を控える人が増える危険があります。7月28日の夕方に最大震度7の「令和8年熊本地震」が発生しました。現在でも、約2,500人が避難所生活を余儀なくされています。最高気温35℃以上の日が続いています。熊本では被災当時465ヶ所の避難所が開設されましたが、冷房設備がないことが指摘されました。冷房設備がない学校の体育館では、今なお熱中症の危険にさらされています。

全国の公立小・中学校体育館の93%にあたる29,678棟が災害時の指定避難所になっています。文科省の調査によると昨年5月1日現在、全国の公立小・中学校にある体育館31,830棟のうち、冷房設備があるのは7,236棟、設置率は22.7%に過ぎません。神奈川の設置率は14.6%と全国平均よりも少ない状況です。そこで、神奈川みなみ医療生活協同組合は、8月中旬から下旬にかけて横須賀市・葉山町・逗子市・三浦市に対して以下の2点を要請しました。

【要請事項】

1. 経済的事由によりエアコンを購入・設置できない世帯に対して、助成制度を設けること。
2. すべての公立小・中学校の体育館に冷房設備を設置すること。併せて、冷房設備の設置計画を明らかにすること。



三浦市との懇談



逗子診療所磯野事務長より要請